

iEMatch®が広げる音の楽しみ

ミドルレンジのヘッドフォン、イヤフォンに最適



iEMatch3.5mm



iEMatch3.5mm



iEMatch2.5mm



iEMatch2.5mm



高感度または超高感度



ダイナミックレンジを回復します

6N銀+銅マトリックス



究極の信号伝送

バランス接続とシングルエンド（アンバランス）接続
(3.5mmのみ)



TRRS-Balanced®

切り替え可能
音質を最大限に高めます

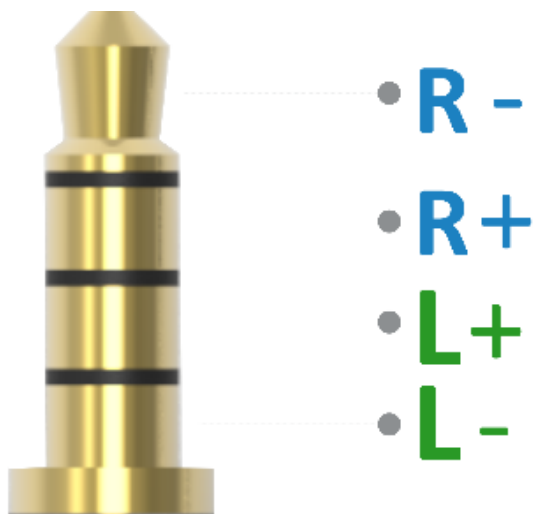
6063-T5



アルミニウム+マグネシウム合金

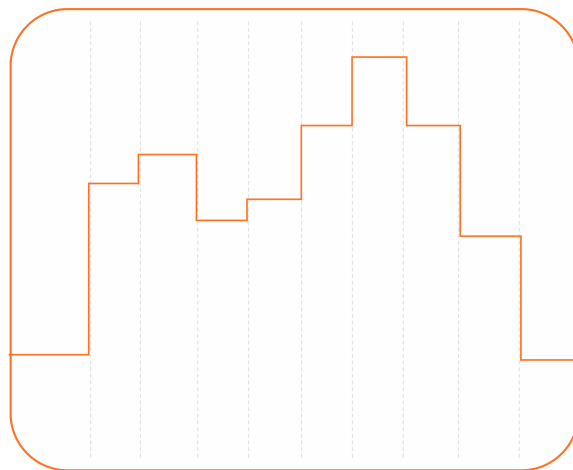
2.5mm4極にも対応した新しいバージョンiEMatch2.5が登場
(2018年1月)

日本からの要請により、オンキヨー、パイオニア、アステル&ケルンなど多くのデジタルオーディオプレイヤーに採用されている規格2.5mm4極版が登場します。



iEMatchのテクニカルノート

詳細な技術解説です。



**Regains 16-Bit
audio resolution**

iEMatch®はヒスノイズを除去し、ダイナミックレンジを改善することによって、ヘッドフォンで音楽を聴く際の破滅的問題を解決します。IEM（インイヤーモニター）とヘッドフォンの大半は、ボリュームレベルが半分程度の時ですらうるさすぎるので、音楽を聴く楽しみが常に削がれてしまいます。信号経路にiEMatch®を入れれば、もうそのようなことはなくなります。

ヘッドフォンやIEMがうるさすぎる時に、あるいはまた音源のヒスノイズが多い時に、iEMatch®を使用します。スマートフォンから航空機内の音楽装置、そしてパワフルなヘッドフォンアンプに至るまで、iEMatch®は音楽の楽しみ方を次のように改善します。

1. バックグラウンドノイズを大きく削減
2. ダイナミックレンジをさらに広げ、透明にする
3. ボリュームコントロールの範囲を広げる

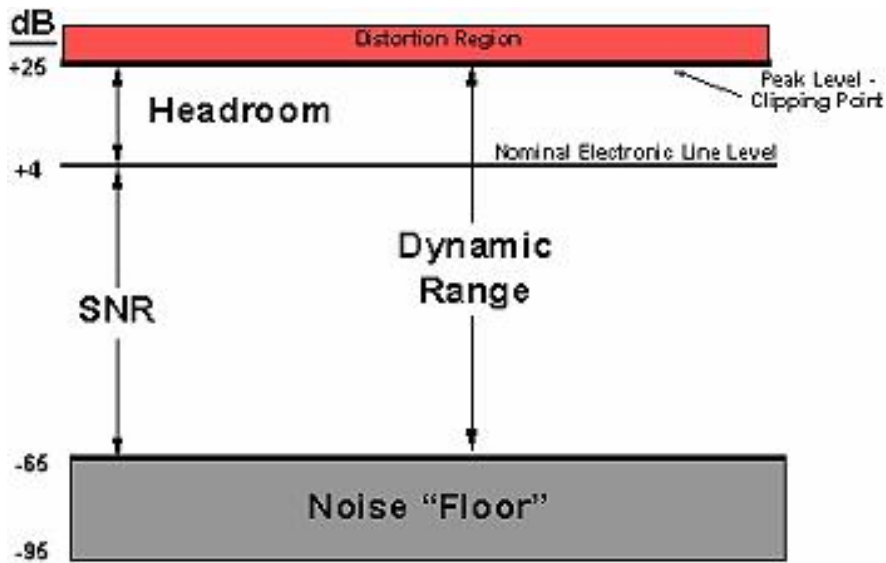
どうすれば解決するのか？ iEMatch®をヘッドフォンとアンプの間に挿入してください。高感度または超高感度のどちらかに設定します。あとは座って音楽を楽しむだけです。



高感度または超高感度

ダイナミックレンジとは、実用上の最大限の音量レベルとバックグラウンドノイズレベルの差を意味します。

非常に高感度な（つまり大きな音の出る）ヘッドフォンを使っているということは、音源自体が持つノイズとサウンドレベルの両方が強調されているということになります。快適なリスニングレベルを得るには、サウンドのボリュームを下げなければなりません。そうするとノイズが増し、ダイナミックレンジが減少するという結果が生じます。



たとえば、音源が114dBのダイナミックレンジを持ち、ヘッドフォンの音が30dB分大きすぎる場合、ボリュームを30dB下げると、ダイナミックレンジは84dBにまで、あるいはCDの音質以下にまで下がってしまいます。高解像度の音源から素晴らしい結果が得られるはずだったのに、こんなことになってしまうのです。

ヘッドフォンを使用する際（特にバックグラウンドノイズをかなりの程度減少させるヘッドフォンやIEMなどを使用する際）、電子的なバックグラウンドノイズが一定のレベルを超えると、急に耳障りに感じられるようになりますから、ノイズは常にできる限り低く抑えなければなりません。

そのためにはボリュームを大きく下げなければならないのですが、その結果バックグラウンドノイズがその分だけ大きくなり、CDやMP3の音質以下になってしまいます。こうして、高価な高解像度ヘッドフォンアンプを中心にシステムを組むという目的は、文字通りくじかれてしまうのです。

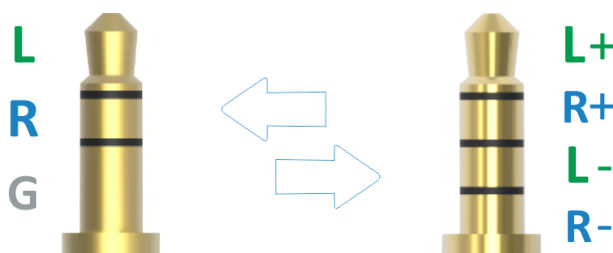
iEMatch®を使用することによって、本来は必要とされるのに失われてしまっていた12dBあるいは24dBのダイナミックレンジを取り戻すことができ、所有している音源や現代の高解像度レコーディングから最大限の結果を引き出すことができるようになります。



12/24dB noise reduction

バランス接続用またはシングルエンド（アンバランス）接続用の3.5mmジャック

AMR/iFiは、iEMatch®で使用している3.5mm TRRSバランスヘッドフォンジャックを、シングルエンド（アンバランス）接続とバランス接続の両方に使用できる、新たな業界標準仕様として提案したいと考えています。



TRRS-Balanced®

世の中の常識という背景から考えると、意味のある選択肢は1つしかありません。3.5mm TRRSジャックは、スマートホンやコネクタに幅広く採用されており、それに対応したプラグやソケットは容易に入手することができます。4本の接続端子（4ピンのXLR端子）を備えているということは、バランス型ヘッドフォンで使用するには理想的だということです。

スマートホンに直結できるアンバランスモード（マイク付きの場合でも）と、適切なバランス端子を備えたDAP、DAC、ヘッドフォンアンプに接続できるバランスモードを切り替えることのできるスイッチを備えたTRRSジャックは、どんなヘッドフォンにも適合することができます。

iFiの「TRRS-Balanced®」システムは、バランス接続とシングルエンド（アンバランス）接続の両方に使用できる、切り替えスイッチ付きのTRRSプラグを備えています。

iEMatch®は両端に3.5mm TRRS接続端子を使用し、フルバランスで動作するので、バランス接続端子を備えたヘッドフォンのバランス回路を最大限に生かすことができます。

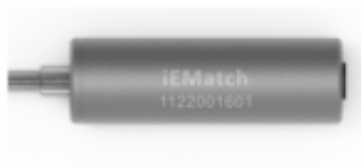
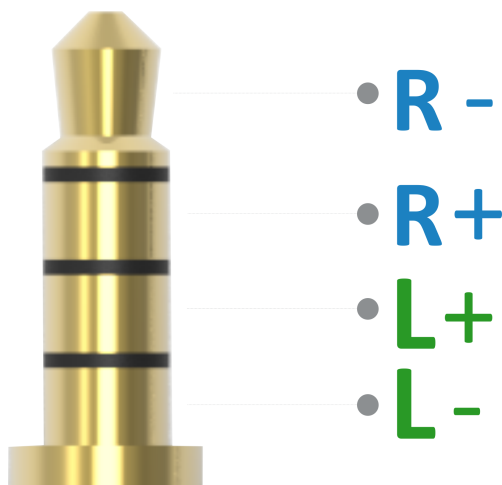


もしもヘッドフォンがシングルエンド（アンバランス）接続のみに対応している場合（マイクなしの場合）は、iEMatch®は自動的にアンバランス動作に切り替わります。マイク接続付きのアンバランス出力やマイク付きのアンバランスヘッドフォンを使用する場合は、「TRRS-Balanced®」のセレクターを「SE」に設定して、iEMatch®をアンバランスに変換してください。

2.5mm4極バージョン iEMatch2.5も登場（2018年1月）

新たに2.5mm4極の製品もバリエーションに加わりました。

こちらはLotoo PAW5000やパイオニア、オンキヨー、アステル&ケルンに採用されている2.5mm4極バランス型ピンアサインに対応します。これらの市場に出回っている2.5mmがすべてバランス対応なので、バランス→シングルエンドの切替はありません。



精密な最高品質の部品



iEMatch®には、6063-T5アルミニウム+マグネシウム合金から6N銀+銅マトリックスの信号伝送用ケーブルに至るまで、高品質な部品が詰め込まれています。これらの部品が集まった製品全体は、さらに優れたものになっています。最高に透明な音によって、音楽の楽しみを生み出すのです。



世界中を旅することがきます

iEMatch®のパッケージには、静かで安らかな旅をお約束するための付属品が同梱されています：ベルベット製ポーチ、航空機内で使用するための金メッキアダプター（3.5mm版のみ）、メモリーフォームイヤープラグ（形状記憶/37dB）です！ 私たちはあらゆる状況を想定しているのです！



2.5mmバージョンには航空機用アダプターは付属しませんのでご注意ください。

仕様

仕様

Ultra (-24dB)& High-Gain(-12dB) 感度調整

TRRSバランス® シングルエンド (アンバランス) (3.5mm版)

2.5mm 4極バランスのみ (2.5mm版)

入力・インピーダンス: > 16 Ohm

出力・インピーダンス: < 2.5 Ohms (High-Sensitivity) < 1 Ohms (Ultra-Sensitivity)

重量: 12.2g

全長: 116mm

ノイズレベル: ~1uV

サイズ: 82x43x40 mm

重量: 155g

バーコード: 5081313081660 (3.5mm版)



バーコード: 5081313081899 (2.5mm版)



標準的な小売価格: 6,800円 (税別) 7,480円 (10%税込) (3.5mm版)

標準的な小売価格: 8,100円 (税別) 8,910円 (10%税込) (2.5mm版)